

令和6年度 第4回 浜松市立伊目小学校運営協議会 会議録

- 1 開催日時 令和7年2月6日(木) 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 伊目小学校 会議室
- 3 出席委員 白柳和義、影山純市、中村智美、白柳雅臣
影山陽一、影山卓也、加茂哲治、長谷川郁展、久保直人
- 4 欠席委員 加茂俊武
- 5 学校支援コーディネーター 太田かおり
- 6 学 校 吉川麻利子(校長)、伊藤省吾(教頭)、野末敏宏(教務)
- 7 教育委員会 牧野知子
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CS ディレクター間渕由利子
- 10 議長の選出及び前回会議録確認
前回議事録について手元資料を参照し、伊藤教頭より口頭で説明があり全員これを確認し、承認をした。
- 11 協議事項
 - (1) 令和6年度学校運営協議会の自己評価について
 - (2) 令和7年度伊目小学校運営の基本方針について
 - (3) その他
 - ・避難訓練時における美咲台までの避難経路について
 - ・学習ボランティアの運用について
 - ・開校150周年記念事業について
- 12 会議記録
伊藤教頭から委員総数10名中9名の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。また、議長については白柳会長より影山純市委員に一任する発言があり、全員これを承認した。
- 13 熟議
 - (1) 令和6年度学校運営協議会の自己評価について
委員2名ずつに分かれ意見交換をし、意見を取りまとめた。
＜評価項目1＞学校運営の基本方針について熟議することができたか
 - ・児童数減少に応じた対応ができた
 - ・伊目地区の子供たちのために充実した熟議ができた
 - ・様々な視点のもとで学校運営について熟議できた＜評価項目2＞承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか
 - ・大切な行事という意識の共有ができた
 - ・明るく元気な伊目小を盛り上げることができた
 - ・昨今の課題について柔軟に対応して熟議が深まった＜評価項目3＞協議会の協議結果について、十分な情報発信を行ったか
 - ・子供会や自治会とも協力ができた
 - ・忌憚のない意見を述べることができた
 - ・立場は違えど意見の共有ができた

＜評価項目4＞今年度の取り組みの評価を踏まえた来年度の目標

- ・児童数減少に応じた運営をしていく
- ・少子化に伴う対応が求められる
- ・伊目地区は小学校を中心に学校行事の他、子ども会・自治会活動を進めていく地区という印象が強いので、今後は様々な世代と交流・活動を進められたらよりよいと思う

〈その他委員からの意見〉

基本方針について⇒1年間委員をやってみて初めて理解できることが多い。事前の情報量が少ない気がするので今後は新年度スタート時に詳細な説明があると、より理解が深まったと思う

救命法について⇒学校運営協議会の中で、進行やねらいについて話し合えたらもっとよかった

学校の児童数が減少する中で、学校運営協議会としては伊目小学校の教育活動が今後も継続していくために、様々な課題に対して柔軟に対応していくことと、来年度も本年度の目標である「持続可能な地域と共にある学校づくり」を進めていくことを確認した。

(2) 令和7年度伊目小学校運営の基本方針について

手元資料を参照にしながら、吉川校長より口頭で説明があった。全員これを確認し、満場一致で学校運営の基本方針について承認をした。

(3) その他

避難訓練時における美咲台までの避難経路について

- 学校運営協議会委員の意見をもとに、学校で決めていく

学習ボランティアの運用について

- 書写、昔の遊びなどさらなる学習ボランティアの運用を推進していく

開校150周年記念事業について

- 学校だよりで、令和7年度は開校150周年にあたることを知らせる
- 開校150周年という冠を行事名につける

14 連絡事項

- ・ 令和7年度学校運営協議会会長について

現会長白柳会長より、来年度の学校運営協議会会長として影山純市委員を推挙する旨の発言があり全員がこれを承認した。

- ・ 伊藤教頭より来年度の運営協議会の開催日の説明があった。

令和7年第1回学校運営協議会は令和7年4月10日(木)開催予定

- ・ 吉川校長より下記連絡事項があった

令和6年度卒業式は3月17日(月)⇒

令和6年度学校運営協議会委員を来賓として招待

令和7年度入学式は4月8日(火)⇒

令和7年度新学校運営協議会委員が来賓として招待